

箕面大滝 Wedding ができるまで

50周年にふさわしいイベントにするため、そして何よりふたりの門出のために奮闘した“チーム・箕面大滝 Wedding”。

あっという間の6ヶ月をダイジェストで紹介！



雄平さん・ゆかりさんらしい結婚式とは？ チーム全体で話し合いを重ねる



会場となる大滝周辺を下見する田村さんらプロジェクトスタッフ



招待状と一緒に贈られた藍染めのハンカチ。滝の水の美しさをイメージして手染めした



披露宴の料理に使う野菜は「箕面市シルバー人材センター」の農園で育てたもの



ゲストの席にあしらわれたのは箕面名物「もみじの天ぷら」。新郎新婦が自ら揚げた



思いを汲むスタッフが
いてこそ実現した挙式

当日を人生の佳き日とするために、プランナー・デザイナー・スタイリスト、カメラマン、そして多くの協力・協賛企業が集まつた。招待状や衣裳、音楽、料理、演出…限られた時間で決めるべきことは膨大だ。自分たち自身の思いや「箕面大滝」という場所への思い、ゲストへの思いが入り混じり、一時はふたりとも余裕がなくなってしまったという。「私たちが困っていても、この人たちとなら大丈夫だ」という気持ちがありました。このメンバーに出会って感謝していました」と雄平さんは正装の参列者たち。ベンチには正装の参列者たち。通りかかったハイキング客は、この日限りの華やかな式場に

多くの人と箕面の自然から
祝福を浴びたふたり

そして迎えた当日。空は雲ひとつなく晴れ上がり、滝の涼しきな水しぶきとまぶしい新緑の中での挙式となつた。広場のベンチには正装の参列者たち。通りかかったハイキング客は、

この日限りの華やかな式場に

祝福を浴びたふたり



花嫁衣裳は「音羽山荘」オリジナルの白無垢。箕面を象徴するもみじの刺繡がほどこされていた



金婚式に選ばれたのは奥田一夫さん・香代子さん夫婦、竹中啓文さん・敬子さん夫婦、神田福二郎さん・英子さん夫婦の3組。結婚式にも参列し、結婚生活の大先輩として新郎新婦を見守った

◆プロジェクトチーム◆

箕面市地域創造部 箕面営業室（企画運営）/箕面FMまちそだて 株式会社（企画営業）/明治の森箕面音羽山荘（企画運営・ウェディングプロデュース）/THE EARTH PRODUCTION（写真・映像・グラフィック）/タカミブライダル 大阪（衣装）/有限会社リレーションサービス（美容着付）/Ree Crescend Inc.（司会）/有限会社クラベレモニー（音響）/UNI（花火）/久田元太写真研究所（記録写真）



主催 箕面市観光協会・箕面工商会議所



『明治の森箕面国定公園』の中にある『箕面大滝』は、はるか昔から季節によつて景色を変え、また訪れた人の心のよりどころとなってきた。この度5月に行われた結婚式と金婚式の模様を紹介する。

ウエディング

明治の森箕面国定公園
50周年記念イベント

箕面特集

この思いを幾久しく

『箕面大滝』で夫婦のこれまでとこれからを祝う

5月12日（土）『箕面大滝』前で結婚式と金婚式が行われた。『箕面市観光協会』と『箕面商工會議所』が主催したこのイベントは、『明治の森箕面国定公園』（以下、「箕面公園」）が国定公園に指定されてから50周年を記念したものだ。『箕面公園』と同じく結婚生活50年を迎える金婚式の夫婦3組と、新たな門出に踏み出す入籍前後のカップル1組の募集が始まったのは昨年9月。『箕面公園』や『箕面大滝』にエビソードをもつカップルを対象とした。『箕面公園』には許可が必要で、イベントの開催は通常難しい。予想以上の

反響で、結婚式には36組もの応募が集まつた。

「どのカップルにも素晴らしいエビソードがあり、1組に絞るのは本当に大変でした」と話すのはプロジェクトチームの一員である『明治の森箕面音羽山荘』の田村さん。審査を経てその座を射止めたのが、現在は滋賀県に住む中越雄平さん。ゆかりさんだ。

大学のサークル活動で知り合つたふたり。ゆかりさんが卒業後の進路に悩んでいた頃、何か声をかけてくれたのが雄平さんだった。交際のきっかけは、壮大なものに触れて気分を一新しようとしたので『箕面大滝』を訪れたことだそう。ゆかりさんの両親も学生時代を箕面で過ごし、幼少期には家族で



訪れた思い出の場所だった。交際後数年を経て、婚姻届を出したのも箕面市。このまちへの思いはとても言い尽くせない。『企画を知った時、絶対にここで結婚式がしたい』と思いまして」とゆかりさん。こうして昨年12月、『箕面大滝』に世代を超えた縁をもつカップルが選ばれた。



金婚式では倉田哲郎箕面市長がプレゼンターを務め、50年の歳月を祝つて箕面焼、実生ゆず酒「ゆずごろり」、「音羽山荘」ペアディナーチケットなど、箕面ゆかりの記念品を手渡した